

# 庁議の概要

開催日 令和7年4月1日（火）

## ◎項目

- 1 新任会議メンバー・副知事からの挨拶
- 2 知事訓示

## ◎内容

### 1 新任会議メンバー・副知事からの挨拶

部局長級の新任会議メンバーから挨拶があった。

#### ○副知事

部局長の意見を聞き、一緒に考えて仕事を進めることによって、県政を支えていくことに注力したいと考えている。よろしくお願いします。

### 2 知事訓示

5点をお願いします。

1点目は、「共感と前進」の県政を進めるためのキーワードの1つである「透明性の確保」について。不祥事や仕事の停滞等、都合の悪い時ほど「透明性の確保」を大事にしていきたい。どれだけ県が誠実に説明責任を果たしているかについて、県民はしっかり見ている。悪いニュースほど早く上げてもらい、早い段階で県民に説明して軌道修正等していきたいのでお願いします。

2点目は、「前進の県政」のために使命を自覚してもらい、進化に向けて挑戦してもらいたい。前例に縛られたために「自縄自縛」状態となった結果、本来行われるべき業務が行われないということがないように、変えるべきところは変えて、時代の変化に合わせた提案を行っていただきたい。

3点目は、職員の仕事と生活の両立をサポートし、クリエイティブな能力を最大限に引き出す環境づくりをしていただきたい。人口減少が進む中、経済の基調も変化してきていると感じる。本県でも、とさでん交通の運転手不足や産婦人科医不足、郡部の消防本部の人員不足など、あらゆる分野で人手不足となっている。昔は「人はいくらでも代わりがいる」時代だったが、今は人を大事にして「人への投資」を通じて新しい価値を生み出す体制を築かないと経済成長は見込めない局面に転換している。男性の育児休業や働き方改革を進めることが必要であり、各部局長が時代の流れを意識するようお願いします。

4点目は「共働き・共育て」で、企業の男性育休取得率の公表を促し、「共働き・共育て」運動の実行性を高めていただきたい。オール高知体制で取り組むことで、出生数や転出増加についての課題に対して実績を積み重ねていきたいので、協力をお願いします。

5点目は南海トラフ地震対策。新しい被害想定が3月31日に国から出たが、その内容は非常に厳しいものだった。県においても、1年掛けて県版の詳細な被害想定

を算出した上で対策を策定する方針であるが、医療救護体制の強化等も含め、防災対策に終わりなし、安全対策に終わりなしということで努力していく必要がある。産学官共同かつ全庁的にやっていくテーマであり、みなさんにも尽力いただきたい。